



どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか追跡調査をした。

町営住宅について

(平成27年6月)

質問

町営住宅に関する話を水戸にある管理センターまで向かうのは不合理。町担当課で受け取るべき。

子ども医療費について

(平成28年3月)

医療福祉支給制度で中学生までの無料化を実施しているが、一医療機関2回まで600円の窓口負担が必要。完全無料化が必要ではないか。

今後検討したい。

茨城県住宅管理センターに委託しているので、すぐに変えることはできないが意見があったことを受け止め今後検討したい。

答弁

研究していきたい

限られた財源の中で、順次子育て支援策を拡充していくが、この件は研究していきたい。

現在の状況は、こうなっています

役場において書類等のチェックをする

入居の受付については、都市建設課に来ていただければ、今後の流れや入居申し込みに必要な書類について説明をし、最終的には、茨城県住宅管理センターを入れた3者で城里町役場において書類等のチェックをすることになる。水戸市まで直接出向いていただくことはないと思う。

県制度で定めた所得制限を撤廃

平成30年10月より、茨城県の制度改正により医療福祉費支給制度の対象者が高校生以下まで拡大となる。
また、城里町では独自に、県制度で定めた所得制限を撤廃しており、すべての高校生以下が外来・入院とも医療福祉費支給制度の対象となる。月2回まで600円の窓口負担額の完全無料化については、ほかの子育て支援策とあわせて引き続き検討をしていきたい。

編集後記

風薫る爽やかな季節となりました。そろそろ田植えも一段落し、ホッとしているとこころではないでしょうか。また、新入生も2カ月余りが経ち学校生活に慣れ楽しい時間を送っていると思います。が、通学には十分注意し、学業に励んでいただきたいと思っています。
さて、城里町も新年度に入り総額約168億の予算でスタートいたしました。予算執行に当たって職員には、町の将来を見据え、切り詰めるところは切り詰め、町民生活のため、町発展のために遅滞なく業務を進行していただくことを望んでいます。

阿久津 則男 記



議会広報委員会

- 委員長 阿久津 則男
- 副委員長 三村 孝信
- 委員 藤咲 芙美子
- 委員 猿田 正純
- 委員 加藤 和子
- 委員 井木 直子